

廃棄物削減
植栽土や防蟻材に
排土リサイクル

自然環境を優先

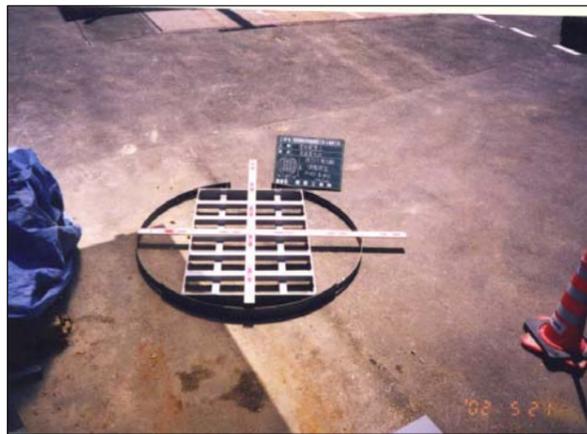
配管施工・排土埋戻し

推進管内の内部外周に配管を行い、スペースを有効に利用して管内管路を構築。推進管内空隙には推進残土を流動化処理して充填を行いリサイクルにも貢献しています。

管周配管工法

特長・効果

- 推進と同時に施工ができ、工期を短縮
- 目視検査が可能で、施工が確実
- 従来のレール設置等が不要で、経済性をアップ



詳細内容は、お問合せください

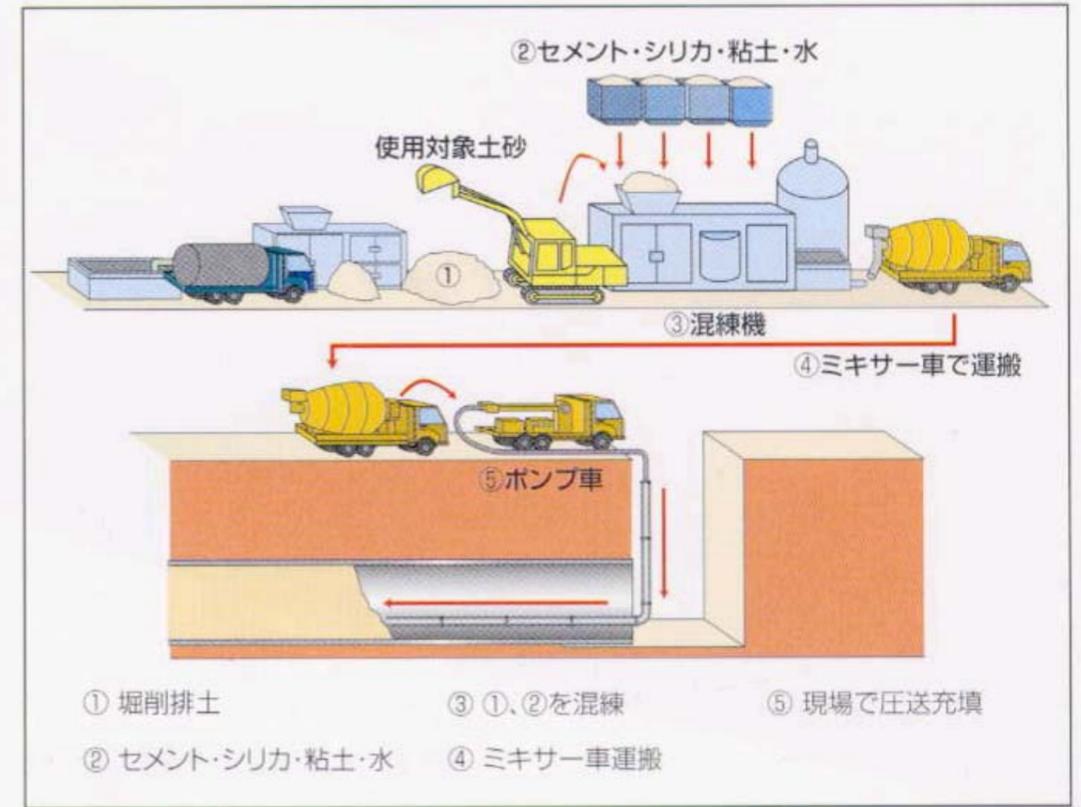


リサイクル工法

特長・効果

- 掘削排土を埋戻しに再利用できます
- 余剰排土は植栽土や防蟻材に活用できます

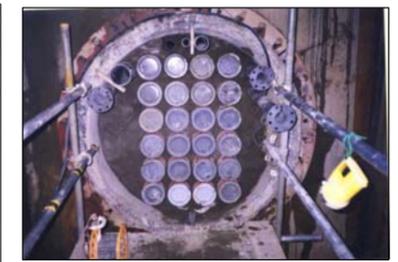
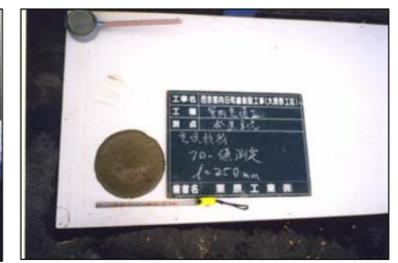
■排土流動化処理概要図



■目標値（施工例）

	フロー値	ブリージング値	最終強度
インバート用	350mm以上	3%以下	50.0kgf/cm ²
管内充填用	350mm以上	3%以下	10.0kgf/cm ²

* 土壌熱抵抗を下げる場合は、充填材の材質を変更できます。



格子配管工法

* 推進管内の中央に管路を築造したい場合に最適です。

- リングの固定に溶接・アンカーが不要で簡単に設置
- 格子は堅固・軽量で簡単に設置
- 目視検査が可能で施工が確実
- 従来のレール設置等が不要で経済性をアップ

(施工例)

